

視聴覚教育

NO.221

発行日 8. 3. 11
発行 岡崎市AVL
編集 集
広報委員会

視聴覚キーワード

『ハードディスク』
磁気を利用してソフトやデータを記憶しておく記憶装置の一つ。パソコンに内蔵され、電源を切っても中身が消えない性質を持つ。動作速度は高速で、大容量。書き込み、読み出し、消去が可能。

岡崎の視聴覚教育の一年

本年度の特筆すべきことは、マルチメディアモデル都市岡崎が全国に広められたことと、自作ビデオと視聴覚教育賞論文の両面で文部大臣賞を受賞したことである。

まず、岡崎市内の周辺部の小中学校三十校に光ファイバー網が張り巡らされ、VODを活用できるようになったことが注目を集めた。これは他に例を見ないことでもあり、各小中学校の実践は新しい授業のスタイルを示すものとなった。さらに、光ファイバー網の引かれていない中心部の小中学校でも、インターネットを活用した授業実践に取り組む学校が現れたり、テレビ会議システムの実験授業が行われたりした。

こうした実践は、全国論文においても高く評価された。日本視聴覚教育賞論文では、藤川小学校在文部大臣賞、井田小学校と新香山中学校在奨励賞をそれぞれ受賞した。松下視聴覚教育研究賞では、城北中学校が理事長賞を受賞した。藤川小と新香山中はVODの実践であり、井田

小と城北中はインターネットの実践である。まさに、視聴覚教育の場でマルチメディア時代の到来を感じさせる年となったのである。

一方、各種コンクールやコンテストでも、全国や県で高い評価を得た。全国自作視聴覚教材コンクールにおいて、中学校部門で自作ビデオ『矢作川の砂—砂の生い立ちを求めて—』が文部大臣賞、同『生き続ける鋳物工場』が優秀賞を受賞した。これで文部大臣賞は、三年連続、通算で五本目の受賞となった。愛知県自作視聴覚教材コンクールにおいて、自作ビデオは優秀賞四点、優良賞二点、佳作一点を受賞し、応募の七点すべてが入賞した。自作スライドは梅園幼稚園の『はなさかじいさん』が優秀賞で、今後の発展が期待される受賞となった。また、放送コンテストや小学生ビデオコンテストでも例年のように多くの入賞があった。

II 視聴覚教育あれこれ II 県自作視聴覚教材コンクール結果

愛知県教育委員会・愛知県視聴覚教育連絡協議会が主催する平成七年度愛知県自作視聴覚教材コンクールにおいて、岡崎市より応募した七点のビデオ作品と一点のスライド作品が以下の賞を受賞した。

☆優秀賞

「八丁味噌—伝統の味を守る—」(小五社)

「リサイクル活動—その現状と課題—」(中三社)

「知られざる大地震—三河地震を探る—」(中三理)

「いつでもある水?」(小四社)

「はなさかじいさん」(幼—表現)

☆優良賞

「六ッ美の花作り—温室を利用した農業—」(小五社)

「Joyful English—A PHONE CALL—」(中二英)

☆佳作

「城下町岡崎—その成り立ち—」(一般)

なお、県内の応募総数は、ビデオ七〇点、スライド二四点、計九四点であった。



本宿の七不思議を探れ

本宿小 日置 正敏

学校というと、子供たちの歓声がこだまする日中に対し、夜はシーンと静まり返り不気味さが漂うイメージがある。本宿小もその例にもれず(？)、数々の不思議が存在しているのではないだろうか。

そんな疑問を出発点に、放送委員会で、『七不思議』と称して、昼の放送で本宿に存在する(？)数々の不思議を紹介することにした。そこで、『七不思議』の企画から放送までを次のように進めてきた。

まず、昼の放送の計画の中で『七不思議』を希望した担当班は、自分たちの探りたい本宿の不思議を考える。次に、その構想を基にして場面ごとのシナリオを作る。本年度は主なものとして次のものがあげられた。

- ・ 理科室の人体模型が自然に動く
- ・ 音楽室のベーターペンの目が光る
- ・ 誰もいない体育館でボールの音が響く

そして撮影を迎える。子供たちにとって一番喜びを感じることが出来る瞬間である。「自分たちの番組」の意識が芽生えてくるからであるか。実に生き生きと撮影している。編集は教師が行い、いよいよ放送本番である。放送中は、自分が出演している場面になるとさすがに照れくさいようだが、同時に満足感も味わっている

ようである。

本年度は、『七不思議』を三回にわたりビデオに集録、編集し放送することができた。この過程を通して、内容の構成やビデオ撮影技術の指導など多くの課題が残った。しかし、子供たちが主体的に取り組む姿を見ると、『七不思議』の取り組みの価値は非常に大きかったと思う。

今後とも、子供たちが主体的に取り組むことのできる番組作りに挑戦していきたい。

II レッツトライ II

音楽鑑賞のLD利用

本物のオーケストラ演奏は素晴らしいが、小学生には、ほとんど本物に出会う機会がない。だからこそ、演奏風景や美しい景色が映し出されるレーザーディスクで鑑賞することで、子供たちの瞳を一段と輝かせることができる。

視聴させたい部分が、チャプター番号を押すとすぐに出る機能は、とても使いやすい。日本の楽器、めずらしい打楽器もアップで見られるので、子供たちにも分かりやすい。最初は音だけで次に映像を入れるなど、工夫して利用すると、子供の反応が楽しみになる。



(大門小 山本 知子)

ライブラリーだより

☆新規購入16ミリ映画の紹介

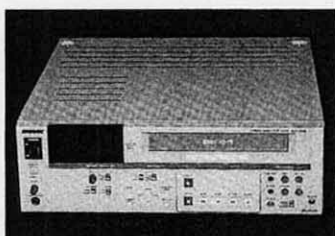
教材	教材名	対象	時間
特・道	ロビンソン・クルーソー	小	40分
〃	ヘレンと共に	小	20分
〃	したきりすずめ	小	12分
〃	わらしべ長者	小	12分
〃	ありとぎりぎりす	小	12分
〃	僕はある日を忘れない	小	24分

☆新規購入機器の紹介

ビデオカセットプレーヤー

(ソニー SVP-5600)

S-VHSビデオカセットプレーヤーです。エディティングコントロールに つなぐことで、フレーム単位の高度な編集が可能になります。ライブラリーのリーダーと組み合わせること、VHSテープ同士、



VHSテープと8ミリテープの編集ができます。 機材の貸し出し及び取り扱い方法については、ライブラリー担当職員にご相談下さい。

※編集後記※

今年度も岡崎の視聴覚教育の取り組みについて、紙面に取り上げてきました。来年度も一層の内容の充実を図り、さらに魅力ある月報作りを進めたいと思います。